

令和元年10月11日

松山河川国道事務所工務第一課

## 「重信川の生き物をつかまえて水のきれいさを判定！」

～大学生が小学生の河川環境調査をサポート～

伊予市立伊予小学校の生徒・児童がおこなう環境学習「生き物による重信川の水質調査」に、地元の大学生のみなさんが協力します。

小学生が川底に住む生き物「水生生物」をザルや網をつかってさがします。身近な川にも魅力的な生き物はあるのか？ 重信川の水はきれいなのか？ 河川生物を学ぶ大学生のみなさんの生き物さがしの腕前は？ 当日は参加者全員が楽しみながら環境調査に取り組みます。

◆令和 元年10月18日(金) 伊予市立伊予小学校5年生66名

※雨天により調査ができないと判断した場合は、中止とします。

□時間・場所

14:00～15:30 伊予郡松前町中川原地先【中川原橋左岸】(別紙1参照)

■今回も愛媛大学環境建設工学科の大学院生・学部生が環境教育に参画します。

## ◇水生生物による水質の簡易調査とは

水生生物は水質汚濁の影響を強く受けることから、それらの生息状況を指標として河川水質を判定することができます。このような取り組みは、子どもや一般の人にもわかりやすく、調査に専門的な機材を要しないことから、誰でも簡単に参加できるという利点があります。さらに、調査を通じて身近な自然に接することにより、環境問題への関心を高める良い機会にもなります。環境省と国土交通省が昭和 59 年度から行っている全国水生生物調査にもとづき、重信川でも多くの小・中学生の協力により毎年実施し、河川環境の保全と川づくりへの住民参加の促進に役立てています。

詳しくはこちらの HP をご覧下さい。

<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/river/tyousa.html>

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】に該当します。

問い合わせ先：四国地方整備局 松山河川国道事務所 工務第一課

副所長(河川)：<sup>かさい ひろゆき</sup>笠井 博之 (内線:204)◎ 工務第一課長：<sup>やまさき もとし</sup>山崎 元司 (内線:311)

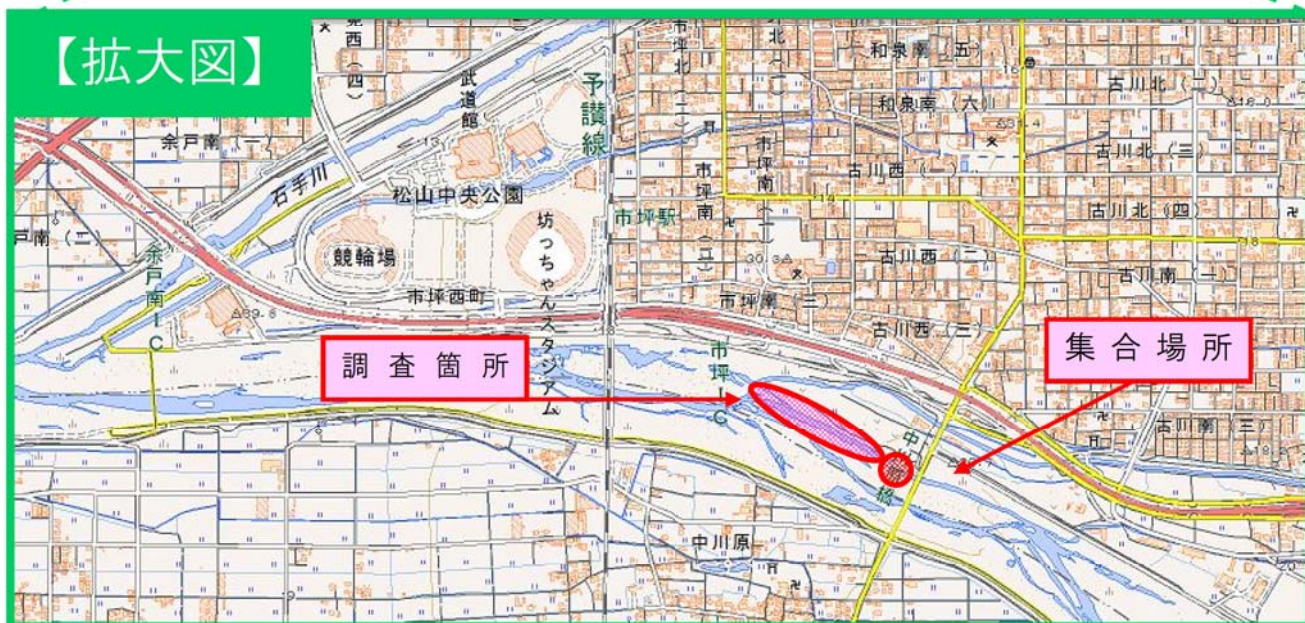
TEL 089-972-0206

FAX 089-972-8105

◎：主な問い合わせ先

◆令和 元年10月18日(金) 伊予立伊予小学校

□伊予郡松前町中川原地先【中川原橋左岸】



※この地図は国土地理院図(電子国土 Web)に加筆したものである。

調査の様子



## 調査風景

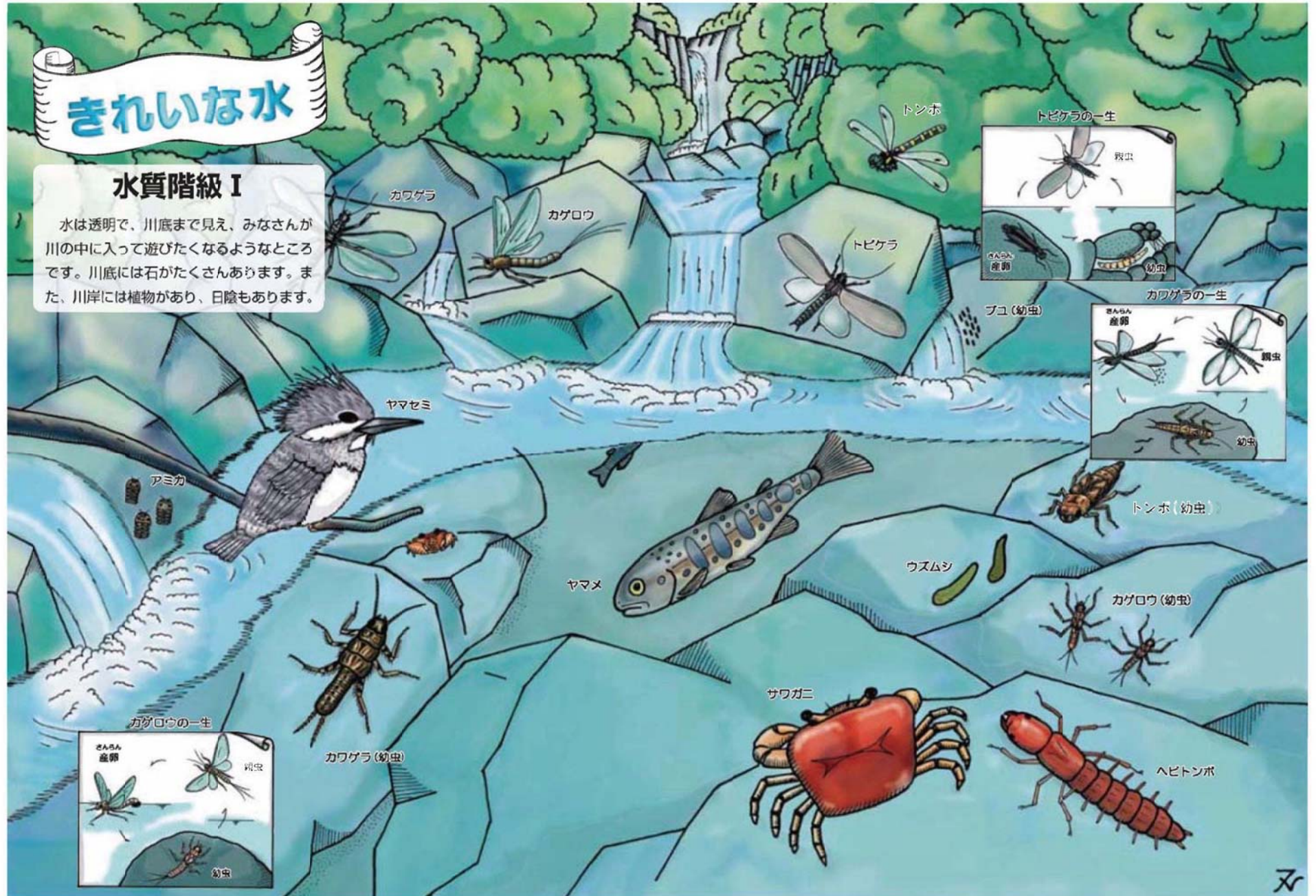
さあ、調査開始です。くれぐれもケガをしないように十分注意して、調査をして下さい。どんな場所にどんな生きものがいますか？ 石の下、石の間、泥の中など色々な場所を注意深くさがしてみましよう。



# きれいな水

## 水質階級 I

水は透明で、川底まで見え、みなさんが川の中に入って遊びたいくなるようなところです。川底には石がたくさんあります。また、川岸には植物があり、日陰もあります。



# ややきれいな水

## 水質階級Ⅱ

周りには田んぼがあって、水がやや濁っているようなところ。川の中の石を持ち上げるとたくさんの生きものを見ることができます。海の水が混じているところでも、石のあるところをさがしてみましょう。

ゲンシボタルの一生



ゲンシボタル



ヒラタドロマシ(幼虫)



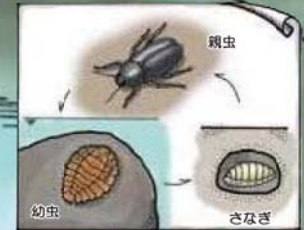
ヒゲナガカワトビケラ(幼虫)



カワニナ



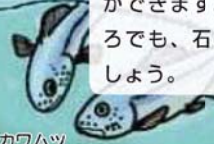
ヒラタドロマシの一生



コオニヤンマ



カワムツ



スズエビ



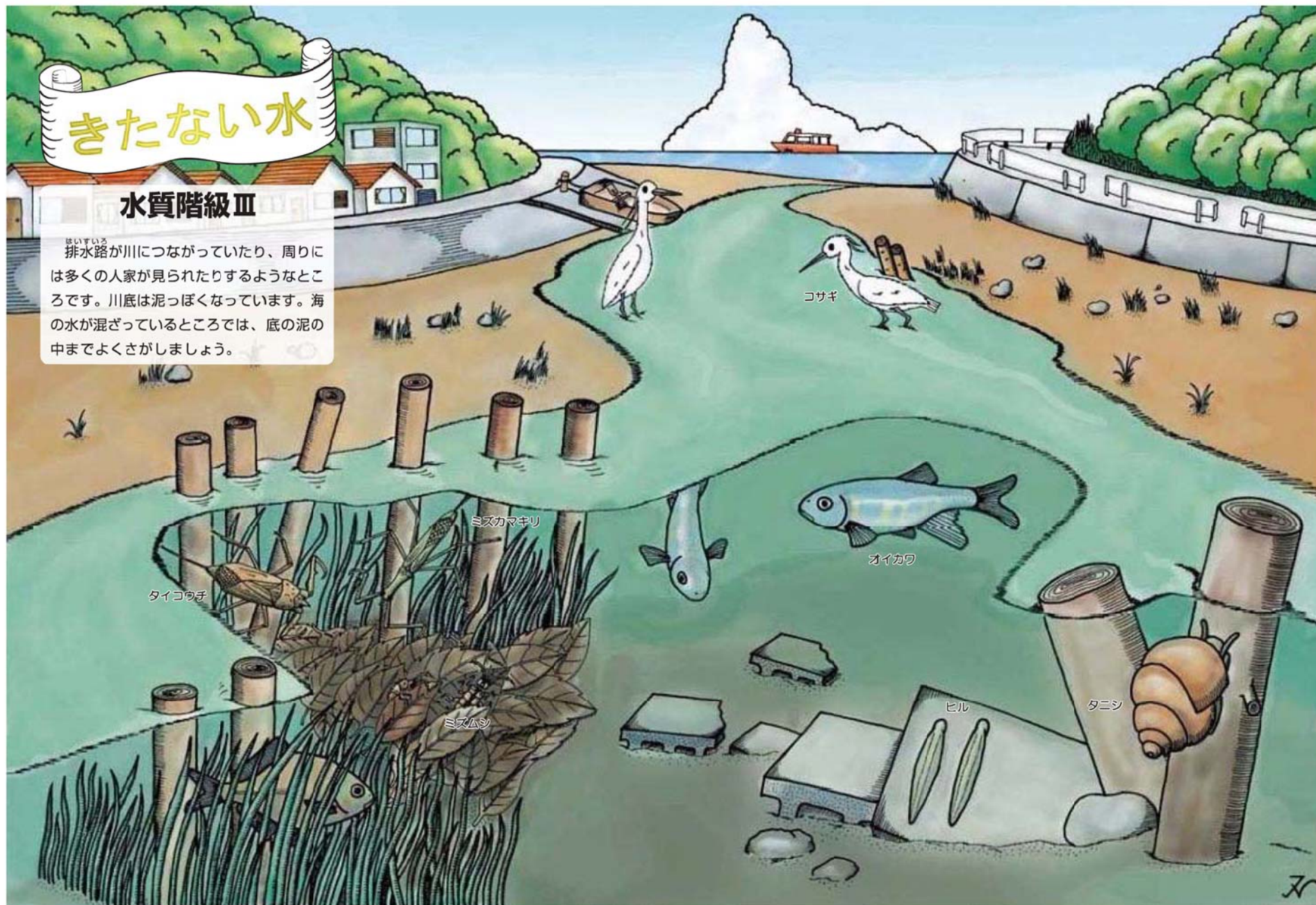
コオニヤンマ(幼虫)



# きたない水

## 水質階級Ⅲ

排水路が川につながっていたり、周りには多くの人家が見られたりするようなところです。川底は泥っぽくなっています。海の水が混ざっているところでは、底の泥の中までよさがしましよう。



# とてもきたない水

## 水質階級Ⅳ

周りには工場なども多く、人がたくさん住んでいるようなところです。川岸が壁のようなコンクリートや鉄でつくられていたりします。川の水は灰色っぽく濁っていて、ゴミなどがたまりやすくなっています。

チョウバエ (さなぎ)

セスジユスリカ (幼虫)

エラミズ

サカマキガイ

アメリカザリガニ